

則定隆男博士記念号の発行に際して

則定隆男教授は、2017年3月31日をもって関西学院大学を定年によりご退職されることとなりました。則定教授は、1984年4月に関西学院大学商学部就任され、爾来33年の間、商学部および商学研究科の研究・教育、後進の育成ならびに行政に多大な貢献をされてこられました。

則定隆男教授は、関西学院中学部、高等部のご出身で、1971年3月に関西学院大学経済学部を卒業後、関西学院大学大学院文学研究科修士課程を修了されました。その後、兵庫県立神戸北高等学校教諭、平安女学院短期大学専任講師、助教授を経て、1984年4月より関西学院大学商学部専任講師として就任されました。商学部では、助教授を経て、1992年4月より教授、1995年4月より博士課程前期課程指導教授、1998年4月より博士課程後期課程指導教授になられ、国際ビジネス入門、国際ビジネスコミュニケーション論、国際取引交渉論などの講義を担当されました。行政では、2000年4月に大学教務部長（2年間）、2002年4月に商学部長・商学研究科委員長（2年間）をされるとともに、学部選出大学評議員としても重責を果たしてこられました。また、学部長として商学部の学生研究誌『Business Wings』の創刊にも尽力されました。

則定隆男教授のご専門は、国際ビジネスコミュニケーションであり、1997年7月に関西学院大学より商学博士の学位を授与されてお

られます。先生は、言語や文化を異にする者の間におけるコミュニケーションを分析し、そこで起きる誤解や衝突の原因を究明し、それへの対処（マネジメント）について研究されてこられ、数多くの研究論文、単著、共著、編著、翻訳書などを出版されました。1991年11月には公益財団法人三井物産貿易奨励会優秀賞を受賞されています。また、国際ビジネスコミュニケーション学会（旧日本商業英語学会）理事長、日本国際商取引学会理事、日本学会議商学研究連絡委員、日本学術振興会科学研究費専門委員会委員、大学基準協会大学評価委員会委員、経営関連学会協議会評議員等々の学会役員や委員を歴任され、学会の発展および社会に多大な貢献をされておられます。

則定隆男教授のご退職にあたり、商学部ならびに商学研究科の教育、研究、行政に対する多大のご貢献に衷心より感謝の意を表し、ここに『商学論究』の記念号を刊行できますことは大きな喜びであります。本記念号の刊行に際してご執筆いただいた先生方、ならびに編集に携わっていただいた先生方に厚く御礼を申し上げます。

2017年3月

商学部長 井上達男